



薩摩 博
(よねしろ会)

小規模修繕等契約希望者登録制度

質 地域経済を少しでも活性化させるため、また、中小零細業者の保護育成のためにも、小規模修繕等契約希望者登録制度を緊急経済対策と位置づけ、制度の拡充を図り、速やかな発注に努める施策検討を。

答 小規模修繕等契約希望者登録制度は建設業者等級格付け名簿に登録されることが困難な業者に受注機会を拡大することが目的であるが、設備の破損等による維持的な補修が主であるため年度によって増減がある。緊急性や利用者の利便性を考慮し、修繕を速やかに対応することにより登録業者の受注機会拡大に努める。

社会保険病院の公的な存続・拡充

質 同病院は、この地域になくてはならない病院であることは市民誰もが願う紛れもない事実である。5万人を超える署名の力強い地域の声と存続を望む地域住民の集いについて。

答 目標としていた署名数を超え、当該病院存続への市民の思いを実感している。当該病院の地域医療等における役割は大変重要であり、公的医療機関としての存続要望を継続している。本市としても地域住民・近隣自治体・病院関係者と一体となり、県と連携を取りながら公的存続の実現に向け、さらに努力していきたい。

その他の質問事項

- ・市職員の海外等視察研修
- ・雇用と中小零細業者支援



安岡 明雄
(市民の声)

不安のない生活を支える社会づくり

質 厳しい生活環境の中、税負担に耐えている。これ以上の増税は死活問題だ、との声が寄せられている。国民健康保険税の改定に対する不安と不満の声にどうこたえていくのか。

答 国民健康保険事業は大変厳しい状況で、今回の税率改定となったが、今後も国が法で定める軽減制度、徴収猶予、分割納付の活用や租税負担の公平性を考慮し、減免制度を適用したい。また市では収納対策室を設置しており、今後も相談業務に力を入れ、世帯の個々の状況にあわせて、きめ細やかな説明で対応したい。

学校図書 の充足度は改善されたのか

質 予算配分や閉校の図書活用で、充足に努める方針であった。閉校の図書は充足に貢献したのか。学校図書館図書標準達成状況は改善されたのか。また予算額はどう推移したのか。

答 公売前に各学校へ周知し、計2,500冊を活用したことにより、小学校2校の学校図書館図書標準達成状況が30%から60%に改善された。小中学校全体平均の達成状況は、19年度の71.8%から20年度は76.2%になっている。また小学校予算額は前年比240万円の増加、中学校は同じく140万円の増加となっている。

その他の質問事項

- ・中心市街地活性化計画の推進に市の本気度が問われていること
- ・観光の拠点づくりをどう図るのか



信太 和子
(大河・生々・みどりの会連合)

秋田プロバスケット(bリーグ)への協体制

質 日本プロバスケットボールリーグ(bリーグ)に、秋田プロバスケットボール会社が参入するに当たり能代の協体制はどうか。経済波及効果も期待できまちなりのチャンスとなるが。

答 当面、試合会場等となる体育施設の優先使用や広報によるPR活動が考えられるが、市民との協働でバスケットの街を創ることを目的とした「バスケットサポーターズのしろ」等と協力して支援したい。経営面で苦戦しているチームが多いと聞いており、まずは盛り上げに向けて地域が一丸となって支援していくことが優先課題。

ごみ処理

質 市のリサイクル率は平成19年度11.32%となつたが、目標の15%以上を達成するために、調査分析など積極的な取り組みが必要ではないか。堆肥化資源化後の利用流通も再考を。

答 一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標達成のため、短期行動計画のモアリサイクル・プランを定め、モアリサイクルプラン推進会議で計画の進捗管理や、生ごみの資源化等さまざまな課題について議論している。市としては推進員の研修等のほか推進会議でさらなるリサイクル率向上に向けた仕組みづくりを調査研究したい。

その他の質問事項

- ・中心市街地活性化
- ・旧小学校備品の公売と廃校活用
- ・能代産業廃棄物処理センター